

令和元年度 鳥取県 P T A 研究大会

兼 令和元年度とっとり電子メディアとの付き合い方フォーラム

開 催 要 項

「深めよう子どもたちとの絆 広めよう地域との絆 見せよう大人の絆」

【ねらい】

- 鳥取県 P T A 協議会は児童生徒の課題、家庭教育の課題、P T A 活動の課題等について意見を集約し、その課題解決に向けて様々な取組を行っています。本大会はその取組の報告や、課題の掘り起こし、情報共有を通して単位 P T A の活動の一助となることを望んでいます。
- インターネット環境の急速な発達により、スマートフォン、ゲーム機等はますます子どもたちの生活の中に浸透し、友人関係のトラブルやネット被害の増加、長時間の使用による生活習慣の乱れが深刻化しています。スマートフォン等電子メディア機器等を利用する際のルール等について大人と子どもが一緒に考えていく取組の一つとして研究大会を開催します。
なお、本大会は鳥取県子どものインターネット利用教育啓発推進協議会のフォーラムと共同で開催いたします。

- 期 日 令和元年 12 月 1 日 (日) 13:00~16:00 (受付 12:30~13:00)
- 会 場 《国府町コミュニティセンター》鳥取市国府町庁 380 (TEL0857-24-1642)
- 参加者 鳥取県小中学校 P T A 会員 (保護者・教職員) 鳥取県教育委員会関係者
鳥取県ケータイ・インターネット教育啓発推進協議会委員
- 主 催 鳥取県 P T A 協議会、鳥取県ケータイ・インターネット教育啓発推進協議会
- 後 援 (公財)日本教育公務員弘済会鳥取支部
- 大会日程

12:30 13:00 13:10 13:15 13:30 13:45 14:15 14:30 15:50 16:00

受付	開会 行事	表彰	概要 説明	こどもサミット 参加児童生徒発表	実践事例発表	休憩	講演会	閉会 行事
----	----------	----	----------	---------------------	--------	----	-----	----------

【受付】 (12:30~13:00)

- 開会行事 (13:00~13:10)
挨拶 鳥取県 P T A 協議会 会長 橋本 恒
鳥取県教育委員会 教育長 山本仁志
- 三行詩コンクール鳥取県 P T A 会長賞表彰 (13:10~13:15)
- 概要説明 (13:15~13:30) 県内の子どもを取り巻く現状 (社会教育課)
- とっとり子どもサミット参加児童生徒による発表 (13:30~13:45)
- 実践事例発表 (13:45~14:15) 鳥取市立東郷小学校 P T A 実践発表
鳥取市立城北小学校 P T A 実践発表

【休憩】 (14:15~14:30) 「とっとり発ミリョク発見！親子でおしごと体験ツアー」取組発表

- 講演会 (14:30~15:50)
講師：ソーシャルメディア研究会チーフ技術指導員 竹内義博 氏
- 謝辞及び閉会あいさつ(鳥取県子どものインターネット利用教育啓発推進協議会副会長)
- 閉会 (16:00)

令和元年度県P研究大会アンケート NO、1

回答 85人	地域			年代				立場		
	東部	中部	西部	30代	40代	50代	60代～	小保護者	中保護者	教職員
	39	21	25	15	53	16		54	29	5

2、実践発表について(子どもサミット)

大変よかった	よかった	あまりよくなかった
38	44	1

■ 大変よかった ■ よかった

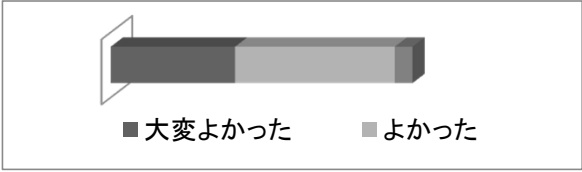
理由(大変よかった・よかった)

- ・メディアに関する事を学び、良い点悪い点を理解し、自ら実践することで解決していく取り組みが素晴らしいと思いました。
- ・周りの大人達が言うより、本人自らが意識することが一番なので、それに気付けた子ども達の発表は大変よいものでした
- ・よく議論されてポイントを押さえている取り組み
- ・メディアについては自校でも取り組んでいますが、いつもPTAで出した案ばかり。今回の発表を聞き子ども達と取り組むことで、何かが変わるような気がします。
- ・子どもサミットでの課題を意識して、その後どうしているかを発表していてよかった。
- ・子ども達の目線で、はっきりと言う姿に心を打たれました。
- ・発表者の声が大きくてよかった。堂々と発表していた。
- ・今、依存している子ども達が、実際これをやり、自分達の現状を知り、自らの行動を改めていって欲しいと感じました。
- ・毎日継続することが大事。今後参加人数が増えるといいですね。
- ・子ども自身が考えることに意義がある。
- ・子どもの生の意見が聞けて良かった。
- ・子どもが実際に話し合っ、気づきがあったと思います。
- ・親の都合で時間になったら「やめる」ように注意するのではなく、子どもに考えさせることをしたいと思いました。
- ・参加している子どもさんは、とても考えている。参加していない子どもは、この話を受け入れられない。ゲームを持ち歩く子どもの多さには考えさせられる。
- ・素直に出来た事、出来なかった事を発表していて、大変良かった
- ・活動を熱心に発表していた。もう少し練習時間を取れたら良かった
- ・子ども達もメディアに対する危険性は理解している。メディアの使い方のルールを決めて、それを実践できるかが課題だと思う
- ・説明に加えて実施した具体的な内容を画面で表示すると、もっとわかりやすくなったと思う
- ・以前のシンポジウム形式も良いと思う
- ・とても子どもらしい意見であるし、きちんと考えていると思った
- ・親の考え、子の考えをお互いに気づき、実際に行動しているのが、すばらしかった
- ・子どもと大人が話をする(メディアに限らず)機会が大切だと思いました
- ・子ども同士で話し合うことが貴重な体験になると思いました
- ・体験談は説得力があった
- ・サミットの良さをどんどん発信して欲しい。継続することが大切だと思います

あまりよくなかった

- ・もう少しサミットの内容を詳しく聞きたかった
- ・おりこうちゃんな姿に何となく苦しさを感じた

令和元年度県P研究大会アンケート NO、3

3、講演会			
大変よかった	よかった	あまりよくなかった	未記入
72	9	1	1
 <p>■ 大変よかった ■ よかった</p>			
理由 (大変よかった・よかった)	<ul style="list-style-type: none"> ・知らないことだらけでした。講演を聞いて本当に良かったです。もっとたくさんの人に聞いてほしいです。自分も周りに話し伝えていこうと思います ・最近の現状がよく理解できた ・具体性があり、よくわかった ・知らないことが多く おもしろかったです ・テンポも内容も聞きやすかった ・マッチングアプリなど大変ショッキングな話題をわかりやすく教えていただいた。ありがとうございました ・子ども達を取り巻くメディアの現状を知ることができた。正直驚いた ・この内容を子どもに伝えてほしい ・日常で活用できる対応方法を試してみようと思います ・もっとかたい話かと思ったら聞きやすかったです。私もスマホで痩せようかな。。 ・インターネット、SNSの現状がわかってよかった ・興味を持って、親が勉強することが大事だと思った ・我が子も携帯、SNSを利用しています。しっかり話をして、かしこく利用していきたいです ・インターネットは上手に付き合う。機能も知らないとどうにもできない もっと知らないと対応できないですね。話し合いも大切ですね ・最後はやはり「親子の関係」なんだと思う ・単にダメというだけではなく、使い方という部分で考えることができた ・ぜひ単Pの講演会にお呼びしたいと思った ・インターネットのトラブルは他人事ではないので、役に立った。 ・子どもからスマホ等を取り上げる事はいじめに繋がる可能性もある ・指導方法にも変化が必要な時期だと感じた。基本はコミュニケーション ・ネットは便利な反面 使い方には注意が必要 ・メディアへの取り組みを実際にやれる形で考えていけると よいなあと思いました ・知らないこと教えていただきました。フィルタリングの画面初めて見ました ・親子で話せる関係になっておかなくてはと思いました ・大人が知ることが大事だと思いました。知らないと何もできませんしね ・スマホを全く使いこなせていないアラフォー世代の自分にはびっくりするような話もあり、参考になりました 5年生の子どもには、まだ持たせていませんが様々なアプリがあると知り 考えさせられました ・メディアのトラブルが連日放送されているので、子どものSNSやインターネットの使用は心配。 どのように付き合いがいけばよいか知ることができた 		

